

令和3年度事業年度評価の結果（概要）

【目的】

経営戦略の着実な推進を図るため、毎年度、各事業において計画期間内に設定している数値目標の達成度等について評価を行い、改善等を要する取組を明らかにするとともに、次年度以降の取組に反映する。

1 評価方法

(1) 数値目標のある取組

数値目標の達成度合いに応じ、以下の表のとおり評価

| 評価指標 | A | B | C | D | E |
|----------|--------|-----------------|----------------|-------|-------|
| 数値目標の達成度 | 100%以上 | 90%以上 100%未満 | 80%以上 90%未満 | 80%未満 | ※特殊事情 |

※災害、新型コロナ等の影響などやむを得ない事情により目標が達成されない場合

(2) 数値目標のない取組

経営戦略に推進することが定められている取組における積極的な成果等を評価

2 評価結果

【数値目標あり】

| 事業課 | 評価対象 取組数 | 評価結果 | | | | | 備考 |
|------|---|------|---|---|---|---|------|
| | | A | B | C | D | E | |
| 発電課 | 11 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 工水課 | 10 | 8 | 0 | 0 | 0 | 2 | (※1) |
| 計 | 21 | 19 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| (結果) | 特殊事情（2）を除き、すべてA [100%以上]（19）の達成度であった。（※2） | | | | | | |

※1 企業債償還額及びダム建設負担金見合いの補助金等の削減目標であるが、一定のルールに基づき、道の一般会計から繰り入れるものであり、主体的な削減等の改善が困難であったもの。

※2 計画期間における最終的な数値目標は設定されているが、当該年度(R2)の目標値の設定がないものについては、適切な取組が実施されていれば「A」として整理

【数値目標なし】

| 事業課 | 評価対象 取組数 | 主な取組成果 | 備考 |
|-----|-------------|---|----|
| 発電課 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・容量市場への参加による収入の確保 ・特別修繕引当金の創設 ・発電所の地すべり災害リスク評価の実施 ・新工ネ導入事業等の基金（道一般会計）への繰出し ・官学連携事業創設による小水力発電設置の検討 | |
| 工水課 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営包括委託契約の見直し ・ICT活用による業務効率化の検討 ・PPP/PFIの導入可能性調査の実施 ・耐震診断結果を踏まえた施設改良方法の検討 | |
| 計 | 11 | | |

3 公営企業管理者の最終評価意見

・各取組に係る目標の達成状況は、一部特殊事情のあったものを除き、すべて100%以上であり、今後も取組を着実に進め成果を上げること。